

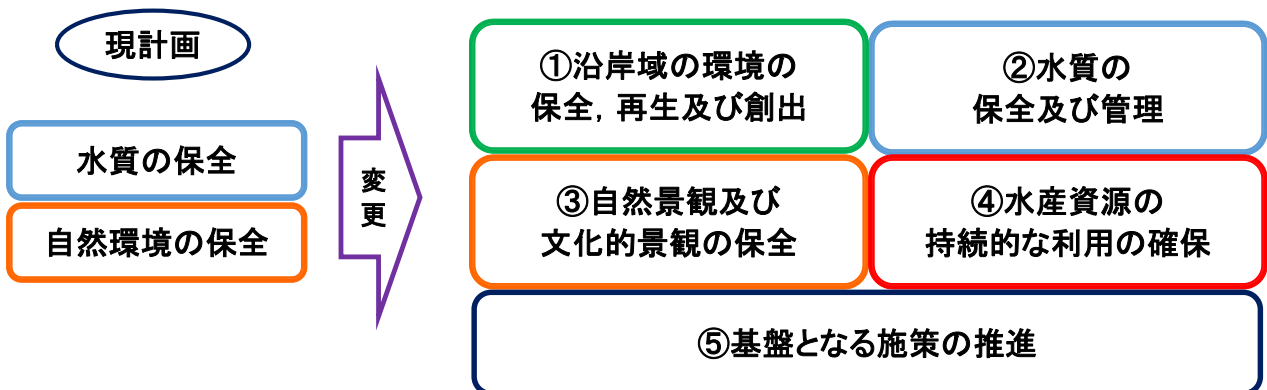
## 「瀬戸内海の環境の保全に関する徳島県計画」の 変更（素案）について

### 1 趣旨

「瀕死の海」とさえ言われた瀬戸内海を救うため、昭和 48 年に、瀬戸内海環境保全特別措置法が制定され、当該法律において、瀬戸内海の環境保全上有効な施策を推進するため、国が基本となる計画（基本計画）を策定し、関係各府県が計画を策定することが義務づけられており、本県の現計画は、平成 20 年に策定している。

このたび、瀬戸内海を、人の活動が自然に対し適切に作用することを通じて、美しい景観が形成されていること、生物の多様性・生産性が確保されていること等、その多面的価値・機能が最大限に発揮された「豊かな海（里海）」とするため、国の「瀬戸内海環境保全基本計画」が変更されるとともに、瀬戸内海環境保全特別措置法の一部を改正する法律が平成 27 年 10 月に施行されたことから、「瀬戸内海の環境の保全に関する徳島県計画」を変更するものである。

### 2 変更の概要



- ・ 国の基本計画の 4 つの目標（①～④）に「基盤となる施策の推進」を加えた 5 本の施策体系とする。
- ・ 計画の期間は概ね 10 年とし、5 年後に施策の進捗状況等を確認し、必要に応じて見直しを実施する。

### 3 今後の予定

平成 28 年 2 月中旬以降

4 月頃  
7 月頃  
9 月～10 月

環境省との事前協議  
関係府県及び庁内関係部局との調整  
パブリックコメントの実施  
県環境審議会からの答申  
県議会定例会に計画案報告  
公表